

2026となみチューリップフェア特別展

ファンタジーを染める たじまゆきひこ展 4/4(土)～6/7(日)

子どもから大人に長く愛されている絵本『じごくのそうべえ』シリーズの作者であるたじまゆきひこは、1940年に大阪府堺市に生まれ、敗戦後は父の故郷・高知県の山村で幼少期を過ごしました。京都市立美術大学(現・京都市立芸術大学)染織図案専攻に進学、アーティストへの第一歩を踏み出します。荒々しく豊かな四国の自然の中での生活は、後の作品に大きな影響を与え、自然への畏敬や土俗的な信仰を表現することに繋がりました。本展では、伝統的な技法である「型絵染」を用いながら、新しい可能性に挑戦し続け、自己表現を貫いたダイナミックな染色作品や絵本原画を展示し、たじまゆきひこの世界を紹介します。



《母衣武者》制作中の作者 2016年(撮影:木村 幸一)



たじまゆきひこ《花見じゃ そうべえ》2024年 童心社 ©Tajima Yukihiko

中学生清流展のあゆみ —創作の原点— 4/4(土)～5/17(日)

これまで庄川美術館で保管していた「中学生清流展」の作品250点を一挙に公開します。
【対象作品】1993年(第1回)～2022年(第29回)開催「中学生清流展」の入賞・入選作品の一部



《川の向こう》1993年(第1回中学生清流展)



《青空の下で》1995年(第2回中学生清流展)

かたちと色の出会い 6/20(土)～7/26(日)

当館のコレクションの中から形と色が出会い創作された作品を展示紹介します。



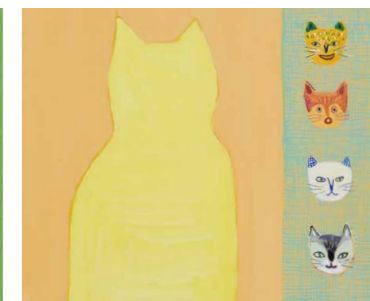
小西 信英《大悲の空》2002年

かたわらには、いつもネコ展 9/19(土)～11/8(日)

猫は、わたしたちにとって身近な動物で古くから一緒に暮らしてきました。その愛らしい姿は、早くから雑誌や絵本に取り上げられ、様々な画家に描かれています。本展は、明治以降、子ども向けの雑誌や絵本などに登場してきた猫のイラストレーションから、日本の絵本のあゆみをダイジェストにたどりつつ、新たな創作が生まみだされている猫の絵本の多様な表現世界を紹介します。



せなけいこ《ふうせんねこ》原画 1972年 ©Keiko Sena



ささめやゆき《あしたうちにねこくるの》表紙原画2000年 ©Yuki Sasameya

2026 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2027 1 2 3

企画展

2026となみチューリップフェア 特別展 ファンタジーを染める たじまゆきひこ展

4/4(土)～6/7(日)
観覧料:一般1,000円(900円)、高校生以下無料
(企画展示室)

中学生清流展のあゆみ—創作の原点— 4/4(土)～5/17(日) (市民ギャラリー)

工芸の秀作
4/22(水)～6/14(日) (常設展示室 1)

下保昭(日本画)
4/22(水)～6/14(日) (常設展示室 2)

川辺外治(洋画)
4/22(水)～6/14(日) (常設展示室 3)

かたちと色の出会い

6/20(土)～7/26(日)
観覧無料
(企画展示室)

松村外次郎の線
6/20(土)～8/30(日) (常設展示室 1)

藤森兼明(洋画)
6/20(土)～8/30(日) (常設展示室 2)

関根勢之助(現代美術)
6/20(土)～8/30(日) (常設展示室 3)

第33回 中学生清流展

8/8(土)～8/30(日)
観覧無料
(企画展示室)

工芸の秀作(木工芸)
9/5(土)～11/8(日) (常設展示室 1)

音さがし展
9/5(土)～11/8(日) (常設展示室 2・3)

かたわらには、いつもネコ展

9/19(土)～11/8(日)
観覧料:一般800円(700円)、高校生以下無料
(企画展示室)

第22回 砺波市美術展

11/21(土)～12/20(日)
観覧無料
(企画展示室、常設展示室2・3)

つくろう!あそぼう! こどもびじゅつかん in winter

1/9(土)～2/23(火・祝)
観覧無料
(企画展示室)

工芸の秀作
12/23(水)～1/31(日) (常設展示室 1)

ロベール・ドアノー(写真)
12/23(水)～1/31(日) (常設展示室 2)

黒田信一(洋画)
12/23(水)～1/31(日) (常設展示室 3)

第23回 砺波市美術協会 会員展

3/6(土)～3/28(日)
観覧無料
(企画展示室、
市民ギャラリー)

漆芸の世界
2/6(土)～3/28(日) (常設展示室1・2)

ジャンルー・シーフ(写真)
2/6(土)～3/28(日) (常設展示室 3)

常設展

※ 記載事項に変更が生じる場合があります。美術館までお問い合わせください。